

LIFE & WORKの  
充実に向けた

## AMGの取り組み PickUp

### LIFE

有休取得率

89%

お休み希望も  
相談しやすく  
プライベートを満喫!!



充実の福利厚生サービス

保養所も  
職員特別  
価格で  
利用可能♪



熱海

軽井沢 熱海 那須

### WORK

一人ひとりの目指す

看護を後押し!

成長し続けられる

教育体制



時間外労働の削減に注力

外部カウンセラー

と提携し、

メンタルヘルスや

キャリアサポートも充実

#### Hospital Data

#### 上尾中央医科グループ協議会 看護本部

〒362-0075  
埼玉県上尾市柏座 1-10-3-58  
AMG 協議会ビル3F  
TEL 048-771-7765 (担当 / 看護本部)  
URL <https://amg.or.jp/section/nursingteam/>



#### Hospital Information

「高度な医療で愛し愛される病院・施設」という理念のもと、地域でのハイレベル・トータルケア（保健・医療・福祉）の提供を目指しています。

#### Webサイト「FLAP!ナビ」では

育休取得後の男性ナースや趣味でも活躍する先輩にインタビュー  
「上尾中央医科グループで自分らしく働く先輩たち」  
2月公開予定 お楽しみに!!



つながりがあるのは心強く、自分の若い頃と比べても今の勤務環境はうらやましいです(笑)。他にも看護の各種資格取得研修を行うキャリアサポートセンターがあったり、養成機関への通学期間も勤務扱いとなる資格取得

支援制度など、グループ力を活かした教育環境が充実しており、看護職として学び続けられる環境と、自分がかめざす看護を実践できるサポート体制を用意しています。看護師は一生、やりがいと誇りをもって働ける職業です。看護師の皆さんに長く、楽しく、働き続けていただけるよう、今後も環境改革を進めてまいります。

一緒にLIFE & WORKの充実をめざしてみませんか？

看護職の

# LIFE & WORKを徹底サポート!

## 上尾中央医科グループ協議会 (AMG)

### 看護本部 三須看護局長に聞く 後輩たちが輝ける職場づくり

看護師の仕事には「きつい、休めない」というイメージがありますが、どんなにやり甲斐があっても働く人の疲弊している職場で良質な看護は実践できません。ご自身も長く臨床現場で働き、現在はAMG協議会看護本部で看護局長を務める三須さんに「看護師がイキイキと輝ける環境づくり」について話を聞きました。



AMG協議会看護本部  
看護局長 三須 真紀 さん

### 24時間体制の看護職でも きちんと休める制度改革

医療現場は年末年始や祝日も関係なく24時間稼働する性質上、看護師は常に臨床現場での対応が求められます。私自身が看護師として働き始めたころは「何をかかっても業務に穴をあけてはいけない」といった雰囲気があり、常に仕事が最優先でした。とはいえ、いくら看護が好きでも休みなく働けるわけではありません。時代の流れとともに「仕事もプライベートも大事」という考え方も定着し、その時々に対応策を実行しながら看護職がイキイキと働ける環境の改善に努めてきました。

AMGでは、かねてより「年間休日120日」を採用しています。年間120日は月で10日の休日、1ヶ月30日とすると3日に1日はお休みになります。そう考えると多いですよ。しかしかつては、休日といつても研修や会議が入り完全な休日とはいえない事情もあったのです。そこで、研修は勤務時間中に行うなど、しっかりと休める制度へと整備しました。より働きやすい環境へと磨き上げていくことも私たちの役割です。そのために医療業界はもちろ

ん、異業種での取り組みなど、業種を超えた人脈を活かした情報収集で制度設計に活かしています。

今年から導入した「時間有休」もその一つ。これは年に5日間相当、つまり1日8時間勤務の方なら計40時間の有給休暇(以下有休)を1時間単位で利用できる制度です。たとえばお子さんを病院に連れていくため出勤が1時間だけ遅れてしまう場合でも、従来は半日休みを取るしかありませんでした。そんな時に時間有休を使えば必要な時間だけ休んで、残りの有休も有効活用できますよ。一般企業でこの時間有休を採用しているところがあるという情報があったため、医療業界ではまだ珍しい制度ですが導入することになりました。

### 看護師として長く働き続け、 成長できる教育環境にも注力

お休みに関することだけではなく、「仕事の充実」に向けてもAMGではさまざまに取り組んでいます。他職種と連携した研修会や、関連医療グループと合同で行うCMS学会(学術集会)などは、異なる医療職種間の理解を深め、連携強化にもつながります。職種の垣根を越えた